

難病者の就労支援に全社で取り組む

株式会社ゼネラルパートナーズ 難病就労アクション 社員ボランティアの皆様
【パートナー団体:NPO 法人両育わーるど】

■活動の目的:

- 難病者の就労問題について考え、行動する。
- 社内の力を結集し、社内外に向けてアクションを前に進めていく拠点とする。
- 障害者手帳の取得が難しく、障害者雇用には算定されないことも多い難病者の就労について考えることを通して、普段の業務で携わっている障害者雇用全体について知見を広げる。

■活動を始めたきっかけ(活動開始:2023年4月):

弊社は2017年10月に難病専門の就労移行支援事業所を設立し、様々な難病の方の就職支援を行ってきた。現場で難病者の就職支援を行っている社員に加え、難病を開示して働いている社員、弊社のサービスでは解決することができないような制度の間におかれた難病者の就労問題に興味のある社員など、難病者の就労という困難な課題に取り組んでいる社員の力を結集し、社内外にインパクトを与えるため、社内同好会『難病就労アクション』を発足した。

■活動内容(ボランティア実数:6名):

●弊社有志社員とNPO 法人両育わーるどで、毎月第2火曜日に情報交換の打合せを継続中。

●同NPOが本年発行した『難病者の社会参加白書2025』に、弊社社員3名から寄稿掲載【「患者会の活動と医療との連携、共同創造」(P.39)「難病者の就労支援の現場から」(P.127)、「病気に

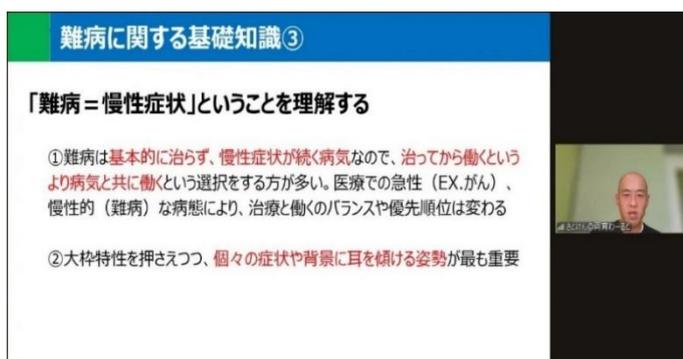
なった私の人生の歩み方」(P.213)】。また、同白書の編集制作に同社からプロボノ1名が参加し、ボランティア社員が社内で同白書制作クラウドファンディングを紹介した。

●2025年9月12日の同白書発刊記念イベントに社員2名が登壇。社内でもボランティア社員が白書説明会を10月17日に開催し、社員60名が参加した。

●同NPOから講師を招き、難病者の就労について想像し、相互理解を深めるワークショップ『THINK DIVERSITY』を2024年11月28日し、社員10名が参加。

●ボランティア社員が社内で難病ディスカッション会を2025年10月22日に開催し、同NPOからゲスト出演していただき、社員20名が参加した。

●同NPOから講師を招き、『インクルーシブRD(難病者)ワーカー研修』を2025年11月7日に実施し、16名が参加。





■活動の成果:

●同 NPO と難病者の就労について定期的に情報交換をすることで、最新の情報を知り、双方の活動の活性化に繋がっている。

●『難病者の社会参加白書』の執筆、編集に参加することで同好会のメンバーの難病に関する経験や考えをまとめることができ、多くの当事者と繋がることができた。社内で白書のお披露目会や、ディスカッションの機会を設けたことで、同好会のメンバーだけでなく、社内全体にも難病者の就労に関する理解が広まっている。

第 11 回企業ボランティア・アワード『インクルーシブ社会奨励賞』